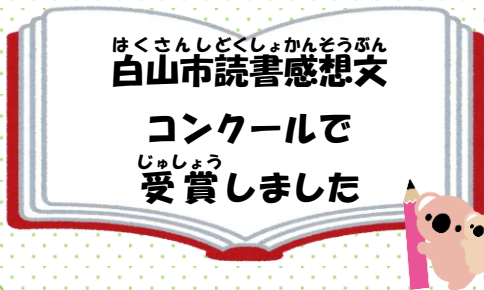




としょかんだより 図書館便り

10月
特別合併号



佳作

小1 せき ちはな
小2 テイラー室谷 丈偉
新田 紗良
小3 新敷 結翔
小4 山田 明佳里
常少 凜音

佳作

小5 常少 彩葉
山本 麗心
小6 菊地 香帆
増田 奈那
中1 川端 一徹
中2 加藤 尊勝
中3 中野 将陽

コンクールにて、審査員の方々から講評をいただきました。

どんなところがよかったかな？どんなところを気をつけたらいいかな？来年度にいかそう！

《小1・2ねん》

- ・たのしんでよみ、かいているようすがわかった。
- ・作者のつたえたいおもいをよみとれていた。
- ・自分のけいけんとおすびつく本をえらぼう。

《小3年》

- ・あらすじだけの作品はなく、自分の考えや思ったことをしっかり書けていた。
- ・漢字を使って書けていた。文字や文章もていねいに書けていた。
- ・同じことをくりかえし書くのは、やめよう。

《小4年》

- ・今の社会問題や、自分の経験と結びつけて書けていて、よかった。
- ・登場人物と自分をくらべて書けていて、よかった。
- ・4年生に合った本えらびをがんばってほしい。

《小5年》

- ・字がきれい、内容的にもわかりやすく読みやすい作品が多かった。
- ・5年生に合った本が選べていた。
- ・引用が多いと内容がうすくなってしまうことがあるので、もったいない。

《小6年》

- ・本を読んだ後の、自分の変化をきちんと書いていた。
- ・6年生に合った本えらびができていて、6年間の積み重ねがしっかりできていた。
- ・漢字のまちがいに気をつけよう。

《中1年》

- ・読書をとおしての感動や考えの変化を、すなおに表現できている。
- ・主題をとらえ、自分の言葉で表現できている。
- ・文字数が少ない作品もあった
(内容がよいのに、もったいない)。

《中2年》

- ・全体的によく考えられている作品が多かった。
- ・読書前後の変化が書けていた。
- ・登場人物のことなのか、自分自身のことなのか、はっきりさせると、なおよかった。

《中3年》

- ・読書で得たものを自分の将来に活かそうとする姿勢がみられた。
- ・こま切れでなく、一貫した調子で述べられている作品が多く、よかった。